

第 78 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録(案)

1. 日 時: 2015 年 8 月 21 日 (金) 13 時 30 分～16 時 00 分
2. 場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室
3. 出席者: 木村 (NIMS)、伊藤 (IHI)、齊藤 (中電)、妹尾 (関電)、俣野 (KHI)
森 (新日鐵住金)、菊原 (MHPS 呉)
オブザーバー: 吉田 (東電)
事務局: 原
4. 配付資料
 - 78-1 第 77 回材料分科会議事録 (案)
 - 78-2 材料分科会委員名簿
 - 78-3 金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に至った経緯と民間規格策定への取り組みの再確認について (規格委員会資料 74-11-9-3)
 - 78-4 第 72 回火力専門委員会議事録 (案)
 - 78-5 第 28 回材料専門委員会議事録 (案)
 - 78-6 第 74 回発電用設備規格委員会議事録 (案)
 - 78-7-1 登録安全管理審査機関説明会(7/28)報告
 - 78-7-2 登録安全管理審査機関説明会説明会資料(材料)
 - 78-8 電力安全小委員会(第 10 回,6/26)審議内容の紹介
 - 78-9 CC2684(HR6W)の規格化関連資料
 - 78-10-1-1～7 規格委員会書面投票結果報告と意見対応
 - 78-10-2 追補版原稿
 - 78-10-3 追補案追加変更分対比表
 - 78-11-1 審議履歴表

5. 議 事

- (1) 前回議事録確認 【資料 78-1】
前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

- (2) 分科会委員の承認 【資料 78-2】
新任候補として西川氏 (物質・材料研究機構) と吉田氏 (東京電力) の推薦が報告され、出席委員全員の賛成により、次回火力専門委員会への推薦が承認された。

(3) 報告事項

1) アルミ事例規格廃止に係る規格委員会委員長の見解および要望 【資料 78-3】

木村主査より、規格委員会において金子規格委員会委員長から要望のあった「アルミ事例規格廃止に係る規格委員会委員長の見解および要望」について、資料に基づき説明があった。

2) 火力専門委員会(5/27 開催) 報告 【資料 78-4】

第 72 回火力専門委員会の議事内容が報告された。主要項目は、以下のとおり。

- 材料分科会委員の退任報告
- 材料分科会の活動状況報告
- 審議結果報告 配管減肉管理に関する規格(CA1-2005)改訂案の原子力専門委員会書面投票による修正案の承認(可決)

3) 材料専門委員会(5/28 開催) 報告 【資料 78-5】

第 27 回材料専門委員会の議事内容が報告された。主要項目は、以下のとおり。

- SN 材の許容値検討状況の報告

4) 発電用設備規格委員会報告 【資料 78-6】

第 74 回発電用設備規格委員会の議事内容が報告された。主要項目は、以下のとおり。

- 火力専門委員会の活動状況の報告
- 発電用火力設備規格に関する審議 今後の手続きについての審議状況について報告。

5) 登録安全管理審査機関への JSME 規格説明会(7/28) 報告 【資料 78-7】

7 月 28 日に開催された登録安全管理審査機関への JSME 規格説明会について、参加者、説明項目、質疑概要等について報告があった。

6) 電力安全小委員会(第 10 回,6/26) 審議内容の紹介 【資料 78-8】

第 10 回電力安全小委員会における電気保安、技術基準の性能規定化に係る資料について、紹介があった。今回、安全率 3.5 に係る検討結果の報告はなし。

7) CC2684(HR6W)の規格化依頼について 【資料 78-9】

CC2684 の規格化については、既定の方針どおり、ASME の CC 材として JSME 火力規格に取り込むとの説明があった。

(4) 審議事項

1) 追補改訂案について

【資料 78-10-1,3】

① 書面投票対応

- 規格委員会書面投票 No293 の結果について、反対意見がなく可決となったこと、および投票意見への対応案と意見対応による追補改訂案の変更箇所について報告があった。
- 規格委員会書面投票 No310 に反映されていない、追補改訂案の修正箇所について説明があり、修正内容が適切であることが承認された。

② 追補原稿案について

【資料 78-10-2】

前回の分科会の決定により各委員が作成した追補原稿案の内、印刷用の PDF 版一式を、資料 78-10-2 として配布した。

＜追補原稿案および変更点对比表の修正＞

- 追補原稿案および変更点对比表の修正は、編集資料が混在しないよう吉田幹事が一元的に行うこととする。資料の修正点を各委員が確認して事務局に連絡し、事務局が取り纏めて、吉田幹事に連絡する。資料の確認項目は以下のとおり、期間は1週間程度とする。
 - ・ 規格委書面投票 No293 意見対応による修正箇所
 - ・ 書面投票 No310 に反映されていない修正箇所(2 ヶ所)
 - ・ その他前回のコメント対応など全般的な確認による修正
- 修正した原稿は、分科会三役にて最終確認を行う。

2) 201X 年改訂版の考え方の整理

① 高クロム鋼のクリープ強度の見直し

- 高クロム鋼のクリープ強度の再度の見直しが行われており、火 STBA28 の許容引張応力は改定が必要な見込みである。
- 高クロム鋼に関する情報提供について調整を行い、8 月 28 日開催の火力専門委員会に間に合えば、火力専門委員会から材料専門委員会へ、検討依頼の提案を行うことにした。
- ASME 相当材も対象になるので、各委員に対象となる箇所の確認をお願いした。
- 電力安全課の火技解釈関連と寿命評価式の見直しよりも、JSME 規格への反映が早い場合は、追補版で削除した寿命評価式の事例規格を復活させる必要がある。

② 新材料の規格化について

新日鉄住金から HR6W とは別に、新規の材料について JSME 規格の新規材料として規格化の依頼が来る見込みである。この件についても、いずれ火力専門委員会から材料専門委員会に検討を依頼する予定。

(5) その他

○分科会の運営に関するアンケート

各委員から事務局へのご意見・要望等を把握し分科会運営を改善することを目的に、簡易な無記名アンケートにご回答いただいた。アンケート結果とその対応については、次回報告予定。

6. 次回開催予定

日 時 : 2015 年 11 月 16 日 (月) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第 3,4 会議室